［標準様式例７－３］

随意契約結果及び契約の内容

業　務　の　名　称	福島管内渋滞対策検討業務
業　務　概　要	道路網・路線計画　１式 計画準備 管内主要渋滞箇所のフォローアップ及び渋滞対策検討 報告書作成
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 東北地方整備局福島河川国道事務所長　丸山　和基 福島県福島市黒岩字榎平３６番地
契　約　年　月　日	令和5年4月12日
契　約　業　者　名	（株）福山コンサルタント　福島営業所
契約業者の住所	福島県福島市野田町７丁目１３－１２
契　約　金　額	２１，５０５，０００円（税込み）
予　定　価　格	２１，５１６，０００円（税込み）
随意契約によることとした理由	別添のとおり
業　務　場　所	福島河川国道事務所管内
業　種　区　分	土木コンサル
履行期間（自）	令和5年4月13日
履行期間（至）	令和6年3月22日
備　考	入札情報サービス（PPI）（https://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx)にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。

契 約 理 由 書

１．件　　名：福島管内渋滞対策検討業務

２．請 負 者：株式会社 福山コンサルタント 福島営業所
　　住　　所：福島県福島市野田町７－１３－１２

３．契約理由：　本業務は、福島県内の主要渋滞箇所についてフォローアップ及び対策方針等検討を行うとともに、当事務所管内における直轄国道等の渋滞対策について具体的な検討を行うものである。

本業務の実施にあたっては、最新の交通データによる主要渋滞箇所の検証と対策案のフォローアップの実施が重要であり、またソフト施策や賢く道路を使う取り組みの検討も必要である。

その検討にあたっては、新たな視点や効果的な対策立案等幅広い知識と高度な技術力が必要となることから、簡易公募型プロポーザル方式に準じた手続きにより技術提案書の提出を求めたものである。

上記企業は、交通状況を踏まえた主要渋滞箇所の解除に向けた効果検証及び福島都市圏におけるソフト施策の取り組みについて、具体的な提案があり業務実施の有効性が高いと判断されたことから、福島河川国道事務所建設コンサルタント選定委員会において特定されたものである。

以上から、会計法第２９条の３第４項並びに予決令第１０２条の４第３号の規定に基づき、上記企業と契約を締結するものである。